

いいね！ 豊島に行こう — 船旅日和 —

-温暖で雨が少ない瀬戸内海型気候の豊島-

瀬戸内海に浮かぶ豊島は、壇山からの湧き水に恵まれ、稲作が盛んで米が豊かなことから「豊島」と名付けられといわれます

✧宇野港～豊島～小豆島を結ぶ 一小豆島豊島フェリー株式会社ー

南北方向の定期航路が圧倒的に多い備讃瀬戸では、数少ない東西方向の航路。会社の創業は昭和 51 年 5 月で、昭和 51 年 9 月から運航を開始。岡山県玉野市の宇野港～豊島（家浦港・唐櫃港）～小豆島（土庄港）の離島航路を 2 隻の船で運航しており、旅客および生活物資等の海上輸送業務を通して、島に暮らす人々のライフラインを担っています。

3 年ごとに開催されている瀬戸内国際芸術祭の 5 回目の秋会期も 11 月 6 日まで。マイカーやマイバイクで豊島の各会場を巡るには「フェリーてしま」に乗船するのが便利です。

■宇野港～豊島～小豆島を結び活躍するフェリーてしまとみらい

フェリー「てしま」は、旅客 350 人のほか、8 トントラックなら 8 台を積載できます。快速艇「みらい」は、旅客 96 人が乗船できる。2022 年 1 月 15 日に就航したばかり。

✧美しい島＝豊島の復活

日本最大といわれる不法投棄事件は、1970 年代頃から始まったとみられ、1990 年に兵庫県警が業者を摘発し発覚。島をあげての公害調停を申請し、最終合意まで長い年月を費やし、島民の根強い闘いは「草の根民主主義」と高い評価を得ました。その後、香川県による原状回復作業が続ぎ、2017 年に直島の中間処理施設での焼却熔融処理が完了。豊島の不法投棄されたゴミは全部処理されて、美しい島＝豊島の環境は復活しました。

✧豊島の唐櫃港から島を巡る

岡山県の宇野港から「フェリーてしま」に乗船し、豊島の 2 つ目の港「唐櫃港」に到着すると、島内を循環するバスの停留所があります。バスのほか、レンタサイクルもあるので、豊島ガイドマップを利用して、瀬戸内国際芸術祭の各会場を巡ることもできます。島の東端には「心臓音のアーカイブ」と「イオベット&ポンス(勝者はいないーマルチバスケットボール)」があります。心臓音のアーカイブの建物は、驚くほど美しい海の浜辺に位置する、別荘のような洒落た家。また、壇山山頂展望台からは、美しい瀬戸内海の絶景を眺めることができます。このほかにも、豊島美術館や、美術館前から見える棚田と瀬戸内の海の美しい風景、島キッチンなど、散策や食事を楽しめる場所も多い、美しい島です。

✧展望台への道は険しい坂道

壇山頂上展望台は、初代が 2011 年 4 月に完成。現在は 2 代目で、2020 年 11 月に完成した新展望台です。壇山の山頂は東京タワーと同じくらいの高さがあり、坂道も険しいので、自転車はオススメできません。豊島最高地点の展望台からの 360 度パノラマは、西は直島と瀬戸大橋方面、南は高松と屋島方面、東は小豆島と家島諸島方面まで見渡すことができ最高です。

「海員だより」